

二種の説法



柳 幹康

前々回見たように白隠は自力（自己に対する執着を除き悟りを完成させる）・利他（人々の心の苦しみを除き悟りへと向わせる）双方の観点から説法を重視しますが、説法にも良い説法と悪い説法があるといえます。今回は白隠が説く二種の説法について見て参ります。

まず悪い説法について白隠は、次のように述べています。「名声や利益を求めたり、己を誇つたり他人に勝ちたいという心が少しでもあるのであれば、それは不浄説法ふじょうせっぽうと呼ばれる。（このような説法は）かえって地獄に墮ちる悪い結果を生むこととなる」（『八重葎やえむぐら』卷三）。

どうして不浄説法をすると地獄に墮ちてしまうのでしょうか。その理由について白隠は詳しく述べていませんが、白隠の以下の言葉がその理由を推し量る手掛かりとなります。

空華の細念、生死の命根、煩惱・陰魔などと様々な呼び名があるが、よくよく見れば詰まるところは我見（我という実体があると思いなす邪見）の一法に帰着する。有我（という思い込み）から、生死や涅槃、煩惱・菩提など（の妄念）が生じる。だからこそ次のように言うのだ。「心が生じれば諸々の法が生じ、心が滅すれば諸々の法が滅す」「我・人・衆生などの観念を抱くのであれば、菩薩（正しい実践者）とはいえない」。〔『遠羅天釜 続集』〕

白隠によれば迷いの元凶は我見です。そして浄説法の原因となる名声や利益を求めたり、己を誇ったり他人に勝ちたいという思いはみな、

この我見のうえに成り立つものです。「我（自分）」というものが存在すると思うからこそ、自分のために富や名声を求めたり、自分を誇る自惚れや他者に勝ちたいという思いが出てくるわけです。このような思いを抱いたまま説法するのであれば、我見は永遠に除かれせんし、むしろ己への執著が増すばかりでしょう。それゆえ不浄説法は地獄に墜ちる原因になるのだと考えられます。

では正しい説法とはどのようなものでしょうか。白隠は少なくとも以下四種の要件を挙げています。

第一、見性していること。自分で看取していない真理を他者に示すことはできないからです（この点については前回の内容をご覧ください）。

第二、衆生の機根を弁別できること。衆生の

機根に応じて教えを説かなければ、理解させることはできません（『四智辨』）。また白隠は上述二点について、「正しい智見を有さず、衆生の機根を弁別できないのであれば、妄りに説法してはいけない」という言葉を引いて説明しています（『八重葎』卷三）。

第三、数多くの教えを収集していること。白隠は言います、「法施（法の施し）を行うには、仏教内外のありとあらゆる書物を普く読み、偉大な教えの宝を広く集めよ。……教えの宝がなければ、何によって法施をするというのか」（『八重葎』卷三）。

第四、分け隔てなく一切の人を慈しむこと。白隠は以下のように述べています。「ただ願わくは、老若男女・尊卑僧俗を分けることなく、生きとし生ける者すべてを己が掛替えなき愛し

子と思いなし、永遠に退転することのない無限の慈悲の心によって倦まず教え導き、皆とともに最高の菩提を完成してほしい」（『八重葎』卷一坤）。

自分自身で真理をしかと見て取ったうえで、無量の教えを広く集め、衆生を分け隔て無く慈しみつつ、それぞれの機根に応じて説いていく。これこそが白隠が提示する理想の仏教者像なのです。

柳 幹康（やなぎ みきやす）

一九八一年栃木県生まれ。二〇一三年東京大学大学院博士課程修了、博士（文学）。東京大学東洋文化研究所准教授・花園大学国際禅学研究所客員研究員（副所長）。著書に「永明延寿と『宗鏡録』の研究——一心による中国仏教の再編」（法蔵館）。

お願い

花園俳壇・花園歌壇

俳壇・歌壇への投稿は、それぞれ別の郵便はがきを使用し、各三句(首)までを読みやすく書いてお送りください。

*ㄨ切りは毎月1日です。

『花園』へのご意見・ご感想など

本誌へのご意見・ご感想など、「編集室花園係」までお送りください。お待ちしております。 **※住所が変更になりました。**

送り先

〒616-8034 京都市右京区花園木辻北町1
妙心寺派宗務本所内編集室
俳壇／歌壇／花園 係

*住所、氏名を必ずお書きください。

*俳壇・歌壇ともに作品は未発表のものに限ります。(他誌投稿作品、転載は不可)

*なお投稿はお返しいたしません。

花園
hanazono

「いつもココロに花園を」
あなたとわたしのポケットエッセイ集

【花園】第72巻 第1号(通巻第845号)
令和4年1月1日発行(毎月1日発行)
定価55円

【発行人】野口善敬

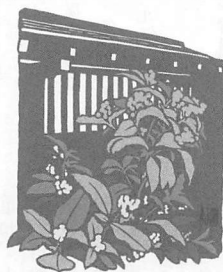
【編集人】石田信行

【印刷人】喜田眞司

【発行所】京都市右京区花園木辻北町1
妙心寺派宗務本所 教化センター
振替／01060-9-1400
電話／075-463-3121

表紙の絵

「千両」



新年を祝福する、緑に映える赤い果実。
絵・正親 里紗(おおざりさ)

月刊『花園』1冊送りの年間購読料は、1,560円(税・送料込)です。
下記のお電話か、ホームページでお申込みください。

【妙心寺派宗務本所 頒布課】電話：075-467-2990

【妙心寺派直売店 web shop】

<http://www.myoshinji-shop.jp/fs/myoshinji/g05-0002>

*乱丁、落丁本はおとりかえいたします。